



今日が楽しく、
明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子（知）
- おもいやりのある子（徳）
- たくましい子（体）

滝沢市立一本木小学校
令和4年 9月28日
文責 熊谷 明宏

いっぼんぎ

みんなで力を合わせた運動会

9月10日（土）、さわやかな秋晴れの下、一本木小学校運動会が開催されました。コロナ禍での運動会も今年度で3回目でしたが、子供たちは、感染症対策と熱中症対策を両立させながら、運動会の練習に取り組んできました。当日は、個人競技では最後まであきらめずに走る姿、団体競技では組の勝利のために仲間と力を合わせる姿、演技では体全体を大きく動かして表現する姿、応援では声が枯れるくらい大きな声で応援する姿などが見られ、児童会のスローガンである「じぶんに厳しく みんなで楽しく」が十分に達成された実りある運動会となりました。

応援に来校いただいたご家族の皆様にも、健康状況調査票の提出等、感染症対策に係り、ご理解とご協力をいただきながら運動会を開催できたことを心から御礼申し上げます。

運動会スナップ



開会式「はじめの言葉」

開会式の「はじめの言葉」は毎年恒例、1年生の代表が行いました。平野暖大（ひらのひなた）さん、下井愛香莉（しもいあかり）さん、古川幸来（ふるかわここ）さん、千葉陽（ちばひなた）さんの4名のはきはきとした心のこもった挨拶で運動会が始まりました。

また、開会式の様子をご覧になった熊谷雅英教育長からは、退場時に陣地に走って戻る子供たちの整然とした姿が立派だったとお褒めの言葉をいただきました。

徒競走やチャンスレースでは、写真のように一等から三等まではシールのプレゼントがありました。今年度は、来賓としてお越しいただいたPTA会長の深澤千春さん、学校教育振興協議会会長の井上勝巳さん、一本木中学校の佐々木英幸校長先生にご協力いただき、子供たちの赤白帽子のつばにシールを貼っていただきました。



5年100M 徒競走

団体競技は、1・2・3年生がチェッコリ玉入れ、4・5・6年生がタイフーンを行いました。チェッコリ玉入れは、かわいいダンスも織り交ぜた競技で保護者の皆様からかわいらしかったという感想が多く寄せられました。タイフーンは、折り返し地点でのターンや、棒を仲間の足の下をくぐらせるなど、見どころたっぷりの競技となりました。



タイフーン 2022



恒例！チェッコリ玉入れ

恒例！チェッコリ玉入れ	優勝	白組
タイフーン2022	優勝	白組

↓ 裏面あり ↓



全校表現は、音楽ユニット YOASOBI の楽曲「ツバメ」に合わせて踊りました。曲の途中で、低学年と高学年とで違う踊りをして変化をつけたところが見せ場の一つで、保護者の方々からも、コンビネーションがきれいだったという感想が多く寄せられました。

運動会が終わった今も、音楽を口ずさんだり、踊っていたりする子供たちの姿が見られています。



応援合戦は、赤組、白組共に応援団がオリジナルの応援を創作し、限られた時間の中で応援の仕方や移動の仕方を全校児童に丁寧に教え、仕上げていきました。全体練習や予行練習で時間を計ったの応援を通していく中で、声の大きさや動きのまとまりの完成度が高まっていきました。合戦で、軍配は白組に上がりましたが、どちらも見事な応援でした。

赤組応援団長 田中 蓮(たなか れん)さん(左写真中央)

白組応援団長 深澤 佑太(ふかざわ ゆうた)さん(右写真中央)

低学年リレーではリングバトン、高学年リレーでは筒状のリレーバトンをつなぎます。各組2チーム編制、計4チームで競技しました。どちらの競技も抜きつ抜かれつのでッドヒートで、見ごたえのある競技となりました。全員で走るリレーは、まさに運動会の総力戦。運動会最後の競技にふさわしい種目となりました。



低学年リレー 1位 白 2位 赤 3位 青 4位 黄

高学年リレー 1位 黄 2位 青 3位 赤 4位 白

優勝	白組	213点
準優勝	赤組	199点

保護者の皆様から寄せられた感想より

- コロナ禍だからできない、ではなく、コロナ禍だってこんなに素敵にできるんだという工夫に溢れた内容でした。特に4・5・6年のチャンスレース「ミッションー本木ポッシブル」の最後のミッションが逃げる先生たちにタッチするというもので、先生たちも一緒に楽しんで取り組んでいるのが分かる場面で面白かったです。
- 競技を一生懸命頑張る子供たちの様子は、見ていて嬉しくなります。勝って嬉しそうな子、負けて悔しそうな子、怪我をした子や落ち込んでいる子に声を掛けてあげる子。競技外でも子供たちの様子が微笑ましく、運動会っていいなと思いました。駐車の際は、PTA 校外指導部の方々に誘導していただいたことでとてもスムーズでした。